＜期末決算補足資料＞

平成２９年３月期

期末決算概要

平成29年5月11日

日本タングステン株式会社

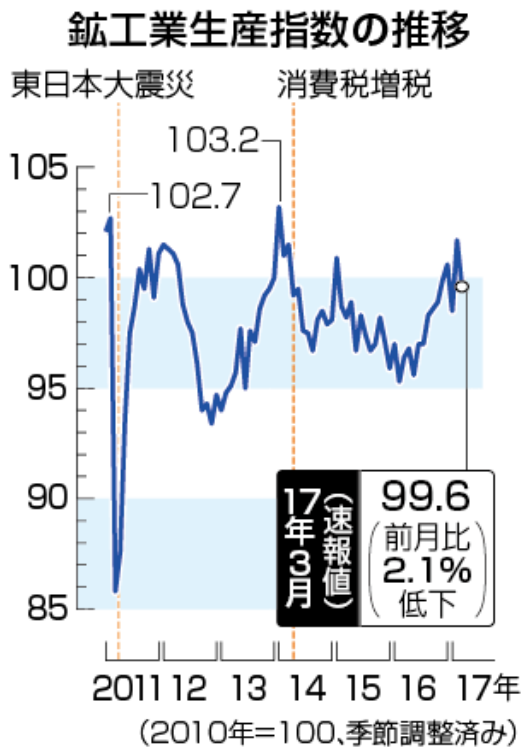
■業績サマリー

日本タングステン株式会社

■ 経済環境

海外では
- 米国や欧州の景気は緩やかな回復基調で推移
- 中国経済も財政政策等で製造業を中心に持ち直しつつある

国内では
- 海外経済の景気回復による輸出の増加や円安・株高等による企業収益の改善が見られる
- 国際情勢の先行きが懸念される等、不安定な状態が続いている



（出典：時事ドットコム）

■当社グループの業績状況

日本タングステン株式会社

●損益の状況

（単位：百万円）

連結業績	平成２８年３月期	平成２９年３月期	対前年比増減額（増減率）
売上高	11,022	10,124	△897（△ 8.1%）
営業利益	678	473	△204（△30.2%）
経常利益	795	575	△219（△27.6%）
親会社株主に帰属する当期純利益	651	469	△182（△28.0%）

売上高は、中国装置事業の見直しや為替の影響に加え、主要商品の一部が市場縮小の影響を受け、減収となりました。

損益につきましては、生産システムの改善及び費用削減等の収益改善策を継続してまいりましたが、売上高の減少をカバーすることができず減益となりました。

●業績予想（２月２日公表）との差異

（単位：百万円）

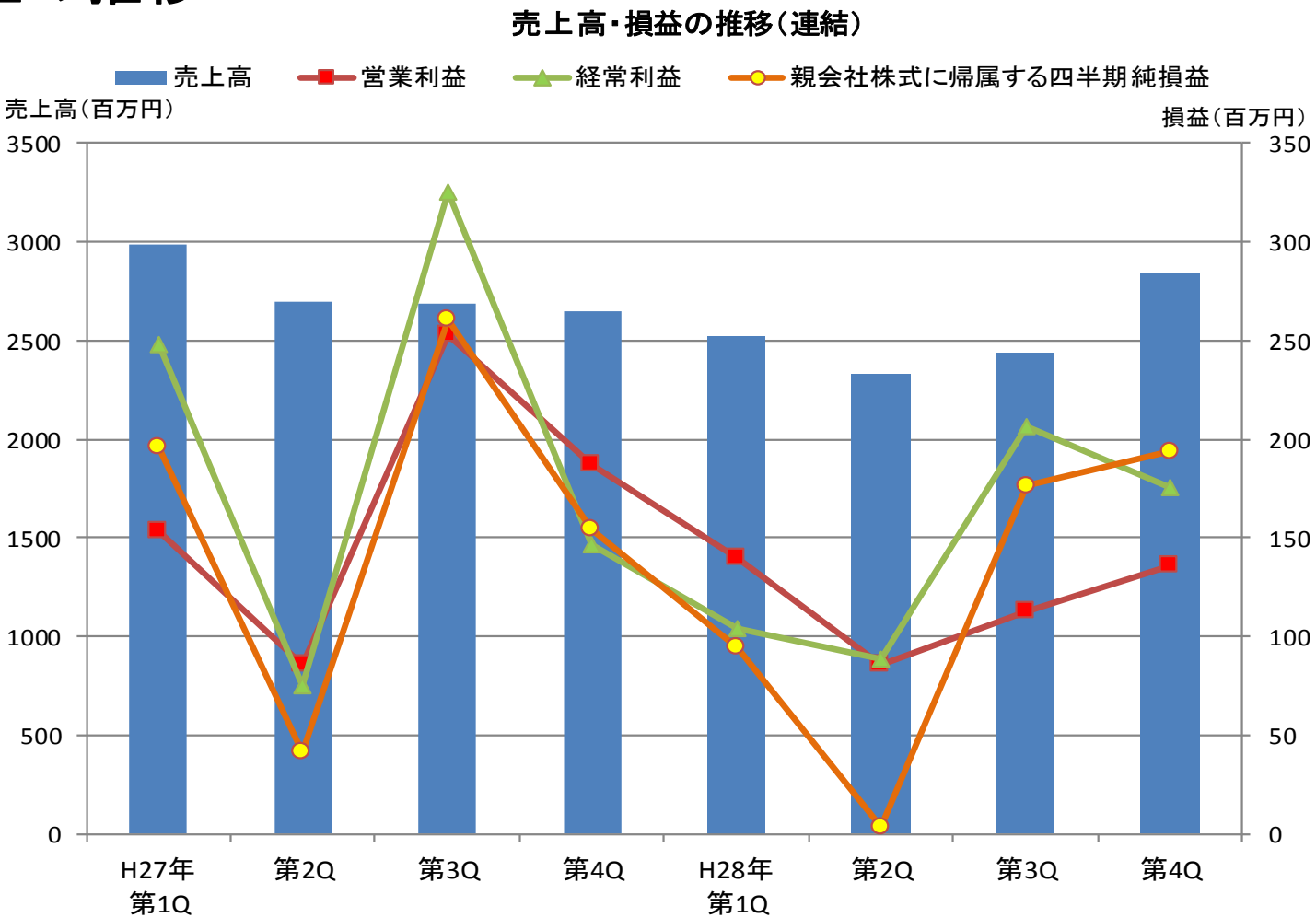
連結業績	業績予想（H29.2.2発表）	実績値	増減率（%）
売上高	10,000	10,124	1.2%
営業利益	440	473	7.7%
経常利益	500	575	15.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	390	469	20.3%

２月２日公表の業績予想に対し、第４四半期の業績が上回ったことにより売上高、利益ともに増加しました。

■四半期別業績の推移

日本タングステン株式会社

●損益の推移

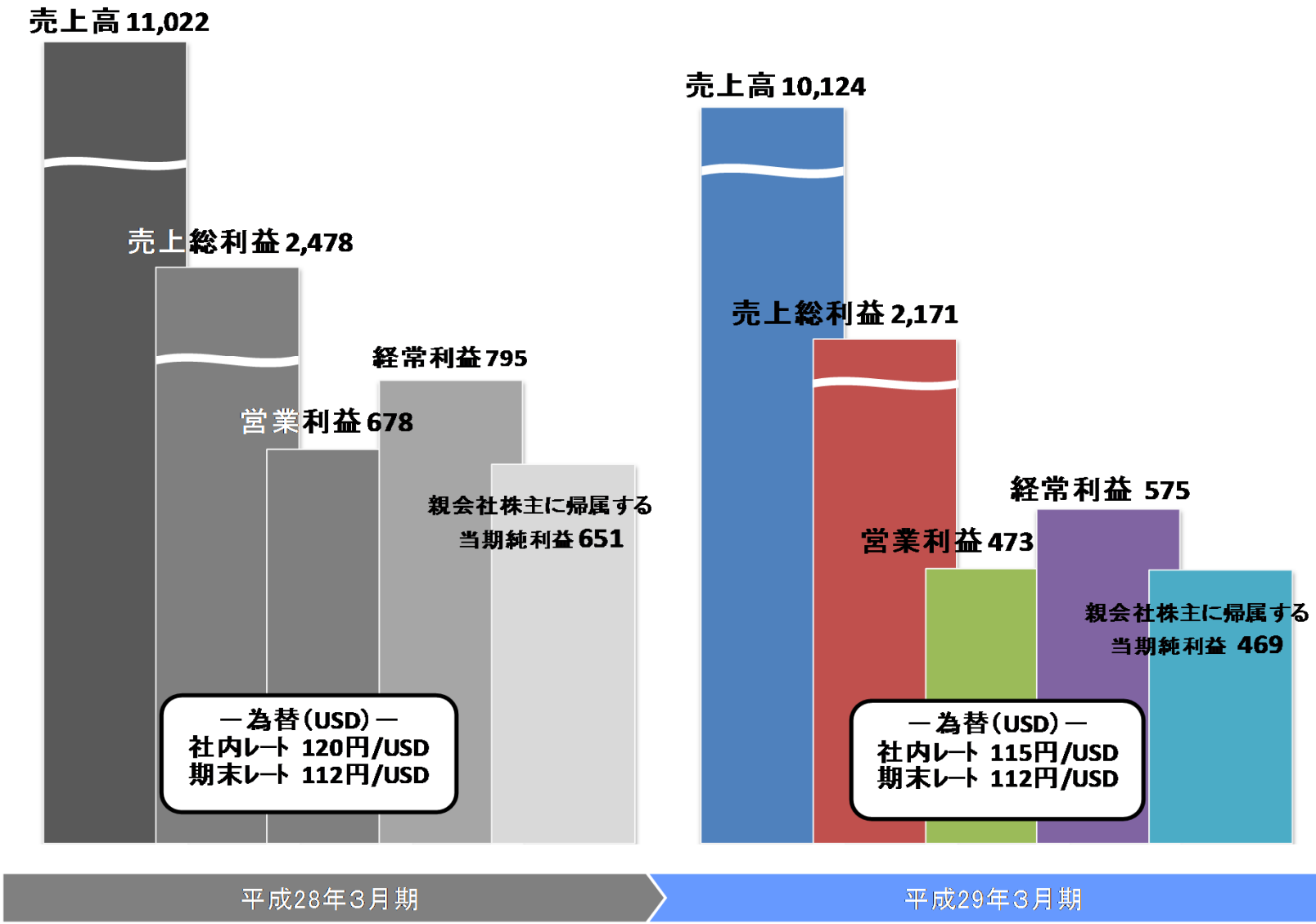


・第2四半期は税金等調整額により四半期純利益が減少
・第3、第4四半期は売上高が回復し、営業利益、四半期純利益が増加

■損益の概況（連結）

日本タングステン株式会社

（単位：百万円）



■セグメント別の状況

日本タングステン株式会社

【機械部品事業】

装置関連

- 国内が好調も、中国装置事業の見直しにより大幅な減収

情報機器関連のハードディスクドライブ（HDD）用磁気ヘッド基板

- HDDの出荷台数減少や為替の影響により低調に推移

衛生用品関連のNTダイカッター

- 若干の減収も、ほぼ計画どおりに推移

	平成28年3月期	平成29年3月期	対前期比
売上高 （百万円）	6，452	5，478	△974 （△15.1%）
営業利益 （百万円）	1，102	623	△479 （△43.5%）

■セグメント別の状況

日本タングステン株式会社

【電機部品事業】

照明関連のタングステンワイヤー

- LED化進展等により減収

自動車関連の接点製品及び電極製品

- HV、EV用接点が好調に推移

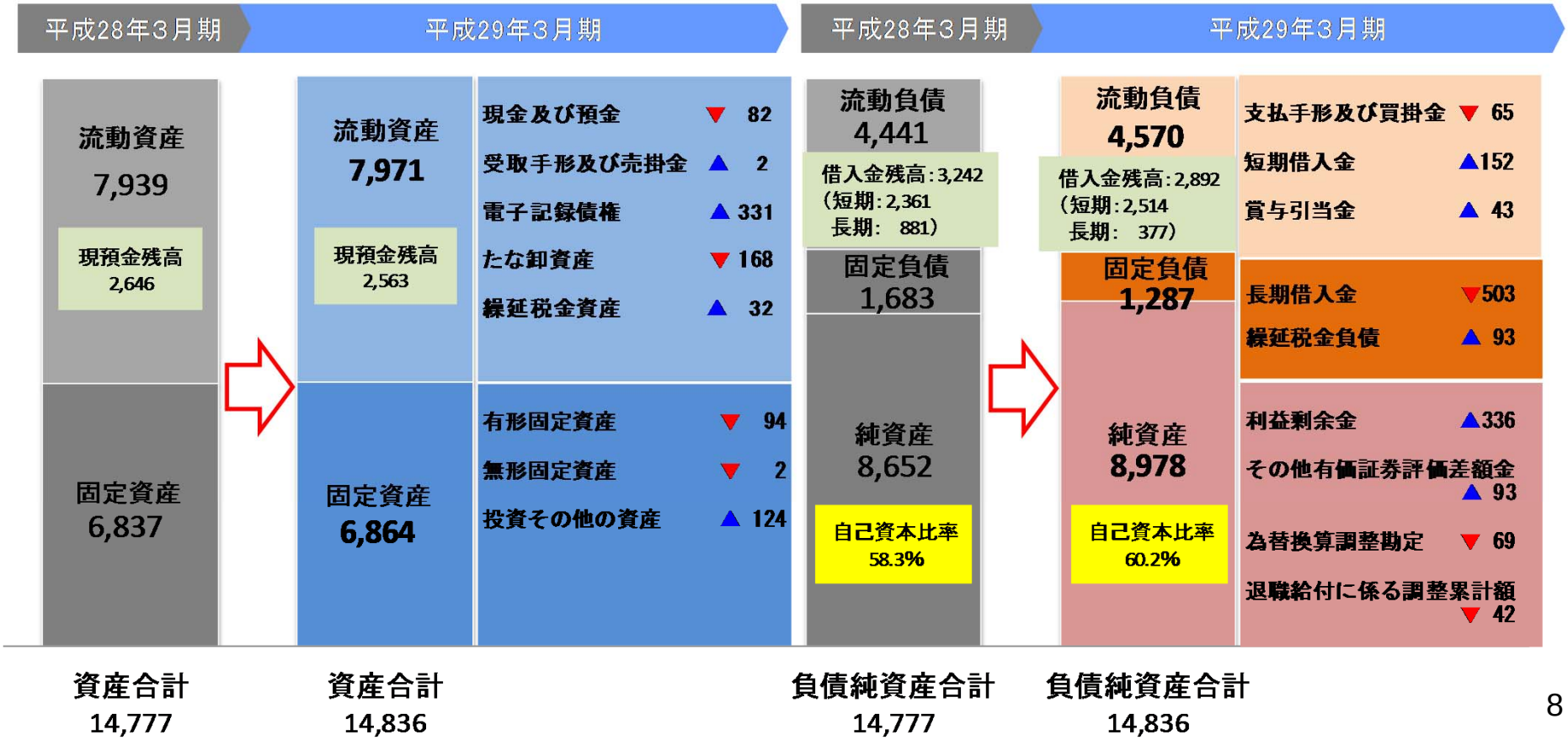
	平成28年3月期	平成29年3月期	対前期比
売上高 （百万円）	4，624	4，691	66 （1.4%）
営業利益 （百万円）	24	292	268 （1,118.8%）

■財務の状況（連結）

日本タングステン株式会社

（単位：百万円）

科目	平成28年 3月期	平成29年 3月期	前連結 会計年度末比
総資産	14，777	14，836	59
負　債	6，124	5，858	△266
純資産	8，652	8，978	325

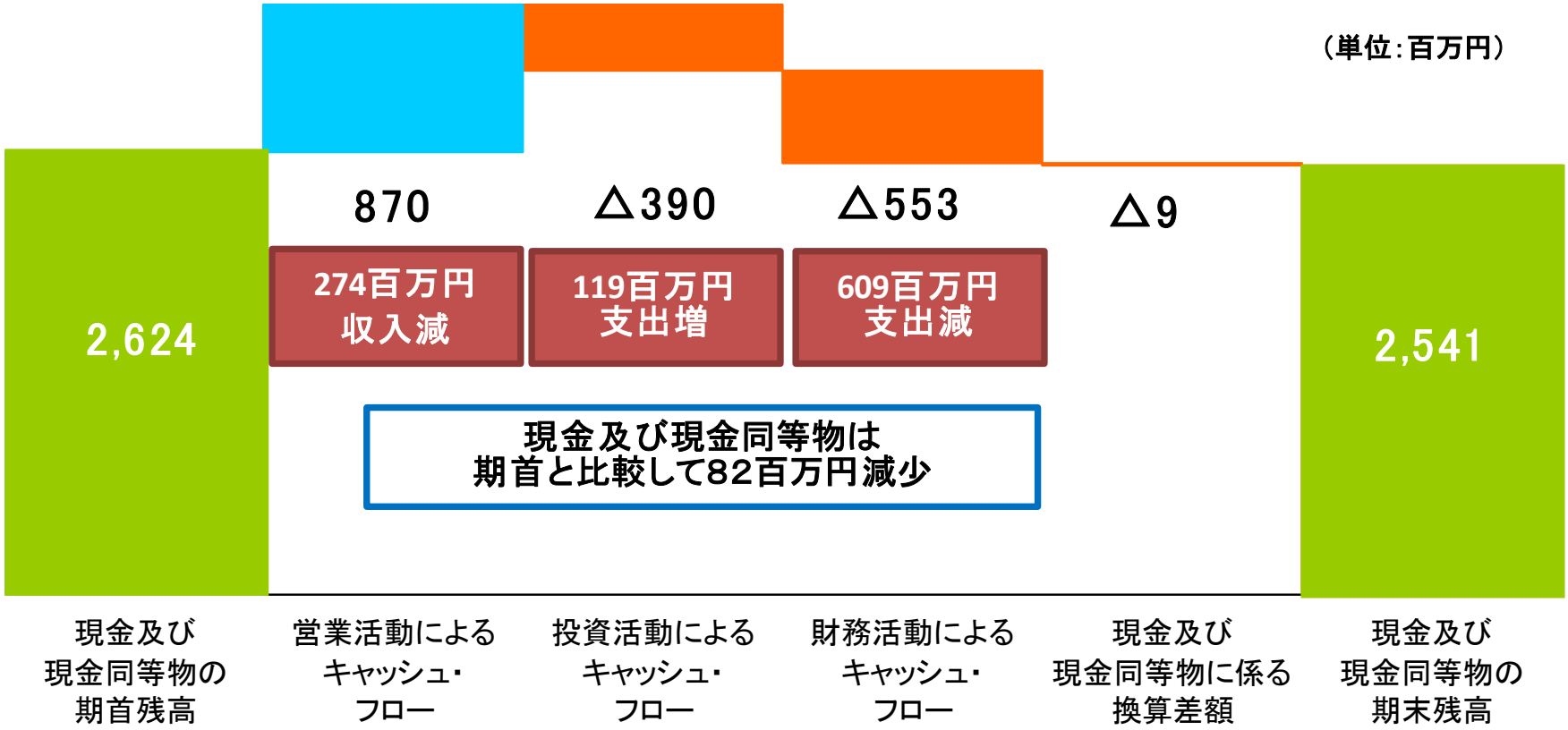


■キャッシュ・フローの状況（連結）

日本タングステン株式会社

平成29年3月期

（単位：百万円）



※増減は前年度比

■業績の推移

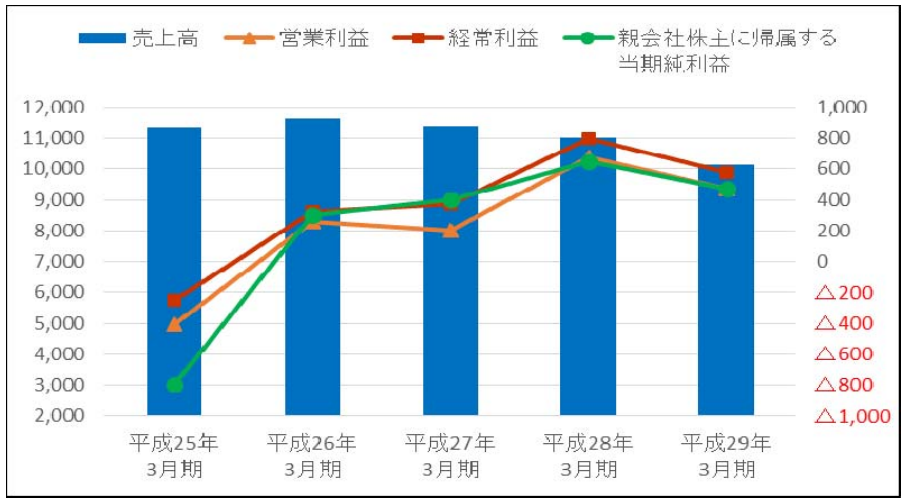
日本タングステン株式会社

■経営成績（連結）

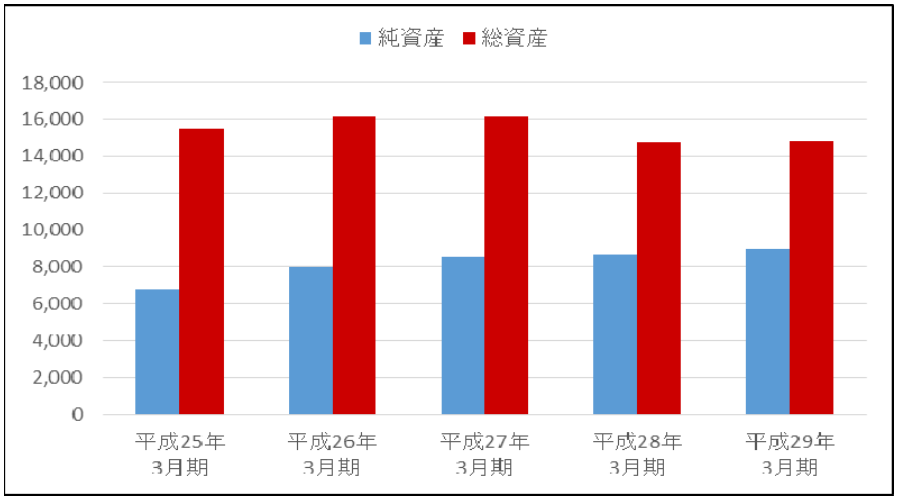
（単位：百万円）

区　　分	平成25年 3月期	平成26年 3月期	平成27年 3月期	平成28年 3月期	平成29年 3月期
売上高	11,333	11,616	11,372	11,022	10,124
営業利益	△405	256	204	678	473
経常利益	△250	320	372	795	575
親会社株主に帰属する当期純利益	△794	303	401	651	469
純資産	6,819	7,950	8,563	8,652	8,978
総資産	15,435	16,155	16,177	14,777	14,836

■売上高・経常利益・当期純利益



■純資産・総資産



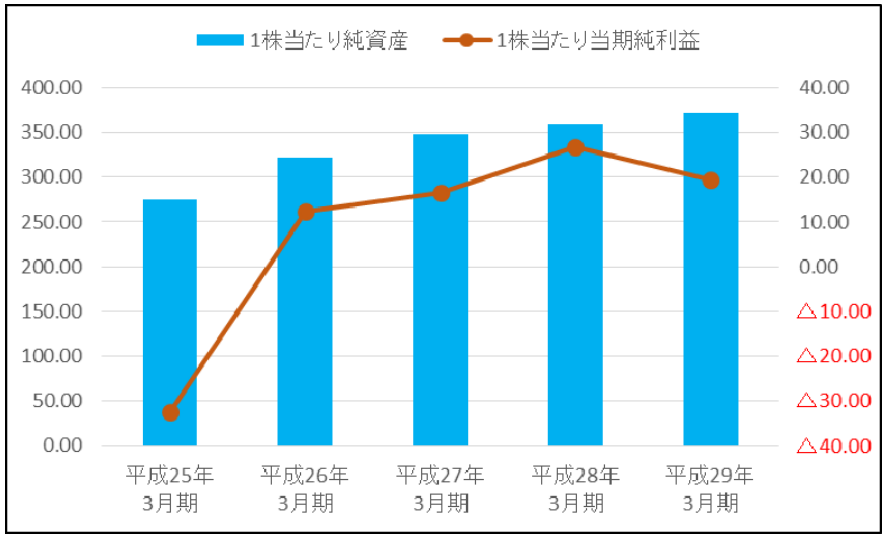
■主な経営指標

日本タングステン株式会社

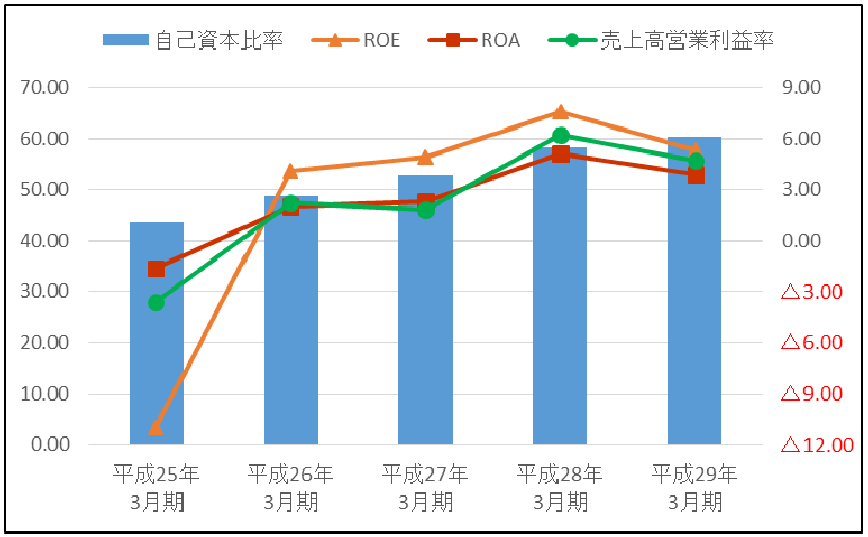
■経営指標（連結）

区　　分	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
1株当たり純資産（円）	274.97	322.36	348.33	358.29	371.50
1株当たり当期純利益（円）	△32.43	12.39	16.42	26.65	19.50
自己資本比率（%）	43.60	48.80	52.70	58.30	60.20
自己資本利益率（ROE）（%）	△11.00	4.10	4.90	7.60	5.30
総資産経常利益率（ROA）（%）	△1.60	2.00	2.30	5.10	3.90
売上高営業利益率（%）	△3.60	2.20	1.80	6.20	4.70

■１株当たり純資産・１株当たり当期純利益



■自己資本比率・ＲＯＥ・ＲＯＡ・売上高営業利益率



■平成30年3月期業績予想

日本タングステン株式会社

（単位：百万円、%）

連結業績予想	平成30年3月期 第２四半期（累計）	対前年同四半期 増減率	平成30年3月期 通期	対前期 増減率
売上高	4,770	△1.7	9,900	△2.2
営業利益	230	2.1	570	20.3
経常利益	280	45.2	670	16.4
親会社株主に帰属する当期純利益	190	93.6	450	△4.1
１株当たり当期純利益	7.90	―	18.71	―

※為替レート：110円／USD

【今後の見通し】

平成30年3月期の売上高は、衛生用品関連のNTダイカッターで増収が見込まれるものの、照明関連のタングステンワイヤーが引き続き弱含みで減少し、また、自動車関連の接点製品が一部在庫調整等で減収となる見通し。

損益面では、生産システム改善による原価低減や設備更新による品質・生産性の向上を図り、収益改善活動を推進し、営業利益、経常利益で増益を見込む。

※上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき算出したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後のさまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。

■剰余金の配当

日本タングステン株式会社

【配当方針】
当社は株主の皆様への継続かつ安定的な利益配当を基本方針とし、当期の業績、今後の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案し配当を行っております。配当の基準として、親会社株主に帰属する当期純利益の30%相当を目安に利益配分を行っております。
また、資本効率の向上を目的として、適宜自己株式を取得し、配当とあわせて株主の皆様への利益還元に努めてまいります。

■期末配当金は、1株につき3.5円。

中間配当金1株につき2円を合わせ、年間配当金は1株につき5.5円。

		平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期
当期純利益	（百万円）	個 別 215	個 別 519	連 結 651	連 結 469
中間配当金	（円/株）	2.00	2.00	2.50	2.00
期末配当金	（円/株）	2.00	3.00	5.00	3.50
年間配当金	（円/株）	4.00	5.00	7.50	5.50
配当金総額	（百万円）	97	122	181	133
配当性向	（%）	45.5	23.5	28.1	28.2

詳細は、本日（平成29年５月11日）公表の「剰余金の配当に関するお知らせ」をご覧ください。

■平成30年3月期配当予想

日本タングステン株式会社

■中間配当金は、1株につき 2円
期末配当金は、1株につき30円

		平成29年3月期	平成30年3月期
当期純損益	（百万円）	469	450
中間配当金	（円/株）	2.00	2.00
期末配当金	（円/株）	3.50	※ 30.00
年間配当金	（円/株）	5.50	—
配当金総額	（百万円）	133	120
配当性向	（%）	28.2	26.7

※ 平成29年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する予定であるため、平成30年3月期（予想）の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。
株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期（予想）期末の1株当たり配当金は3円となり、1株当たりの年間配当金は5円となります。

【配当（利益還元）方針の変更】
当社は株主の皆様への配当の基本方針と、当社が行う戦略的投資との関係を明確にするために、配当（利益還元）方針を変更いたします。
変更後の方針は、平成30年3月期中間配当から適用いたします。
詳細は、本日（平成29年５月11日）公表の**「配当（利益還元）方針の変更に関するお知らせ」**をご覧ください。

■NTダイカッター生産能力増強について

日本タングステン株式会社

当社の主力商品であるNTダイカッター事業の今後の需要拡大に対応し生産能力の増強を図るため、基山工場に建屋を増築し、専用スペースを拡張することといたしました。

【建屋の概要】

（1）所在地　佐賀県三養基郡基山町大字園部3173番地2

（2）建築面積　約4,100㎡

（3）着工日　平成29年　8月（予定）

（4）竣工日　平成30年　3月（予定）

（5）投資総額　約10億円

（6）資金調達　自己資金及び借入金

【生産能力】

今回の増築により、NTダイカッターの生産能力は現在の2倍となる予定

詳細は、本日（平成29年５月11日）公表の「NTダイカッターの生産能力増強に関するお知らせ」をご覧ください。

■その他開示資料について

日本タングステン株式会社

1. 単元株式数の変更、株式併合及び定款の一部変更について

当社株式の単元株式数を1,000株から100株に変更することといたしました。また、単元株式数を変更するにあたり、当社株式について、10株を1株にする株式併合を実施することといたしました。
詳細は、本日（平成29年5月11日）公表の**「単元株式数の変更、株式併合及び定款の一部変更に関するお知らせ」**をご覧ください。

2. 役員等の異動について

詳細は、本日（平成29年5月11日）公表の**「役員等の異動に関するお知らせ」**をご覧ください。

3. 当社の株券等の大規模買付行為に関する対応方針(買収防衛策)の更新について

当社では買収防衛策に関する諸々の動向を踏まえ、当社の企業価値ひいては株主の皆様の共同の利益をより一層確保し、向上させるための取組みとして、買収防衛策を更新することといたしました。
詳細は、本日（平成29年5月11日）公表の**「当社の株券等の大規模買付行為に関する対応方針(買収防衛策)の更新に関するお知らせ」**をご覧ください。

日本タングステン株式会社